

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-03-03-01
事務事業名	農林海岸整備事業		根拠法令・要綱等 海岸法
事業開始年度	昭和46年～		
総合計画	大項目	基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	災害に強いまちづくり
	小項目	施策	海岸整備
問合せ先	担当課(室) 農林水産課	職・氏名 耕地治山係長 小川 勝巳	電話 0869-64-1830

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	農林海岸保全区域内の農地及び農業者
目的(何のために)	津波、高潮、波浪、その他海水又は地盤の変動による被害から、農地を保全する。
行政活動(どのような方法で)	海岸法に基づく、農林水産省農村振興局所管の海岸保全区域に指定されている海岸について、岡山県が実施する堤防、護岸等の海岸保全施設工事に對し事業費の一部負担と地元調整を行う。また、堤防の草刈等管理を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	農林海岸施設を整備することにより、津波、高潮、その他海水又は地盤の変動による被害から、農地を保全する。

事業の実績					
活動実績	実施項目				
	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	樋門堤防修理	m	0.0	0.0	96.1
	海岸施設管理委託	m	1,100	1,100	1,100
事業費	直接事業費	千円	170	170	5,145
	人件費		1,983	1,571	282
	事業費計		2,153	1,741	5,427
	国県支出金		100	100	100
財源	受益者負担	千円			
	市一般財源		2,053	1,641	5,327
	必要人員	人	0.23	0.18	0.04
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	樋門堤防補修	説明			
	結果指標量	m	0.00	0.00	96.10
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	415,000	315,000	4,975,000
単位当たりコスト	円	-	-	51,769	
結果指標	海岸施設管理委託	説明			
	結果指標量	m	1,100	1,100	1,100
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	1,738,000	1,426,000	170,000
	単位当たりコスト	円	1,580	1,296	155

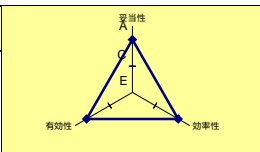
事業の成果			
成果指標名	樋門堤防の補修	式又は説明	本事業は維持管理的事業であり、そのつど必要が生じた箇所について対応しているため、施設全体の目標設定は出来ない。17年度については、2地区において堤防の補修工事があったため、補修事業にて17から19年度までの5カ年で、事業実施するため、それぞれの年度ごとの事業費を成果としている。
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	4.5%	3.4%	56.8%
対前年比		75.56%	1670.59%
到達目標値	100%	到達目標年度	平成21年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	妥当性評価<A-E> B
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の意図する成果	経年により背後地の農地が減少し宅地化が進んでいるため、受益者も農業者から非農業者へと変化しつつある。このことから農林海岸としての性格が希薄になってきており、事業そのものは防災面から必要であるが、地区によっては管理部門の変更を県と協議していく必要がある。
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要はない	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の意図する成果	効率的性評価<A-E> B
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	課題認識
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	課題認識
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしていない	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしていない	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを削減することは困難	効率的性評価<A-E> B
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	県営事業であるため事業費そのもののコストには関与できない。人件費削減のため県・地元役員との協議を密に行い地元調整を効率的に進めるようつとめる。
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	有効性評価<A-E> B
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	維持管理的な事業であり、そのつど必要が生じた箇所について対応しているため、施設全体での目標設定や成果を数値では顕せない。
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成20年度の状況		<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	説明 県の樋門堤防補修事業として、19年度からの継続事業として鶴海岸の整備が決定している。
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量	1箇所(約20m)	結果指標量	樋門堤防の補修
総合評価	評価区分<A-E>	B		

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	管理部門の検討	臨時	管理及び事業実施主体の適正化が図れる。
効率性	県、地元役員との協議を密に行う。	毎年	地元調整が効率的に進み、事業の円滑な進捗が期待できる。